

Sales_V-ONE

インストール手順

(第4版)

～ 注意点 ～

○本書作成に使用している画面イメージは全て Windows7 です。

○本ソフトウェアは次の OS 以外の動作保障はしておりません。

Windows Vista

Windows7 (32 bit /64 bit)

Windows8 (32 bit /64 bit)

Windows8.1 (32 bit /64 bit)

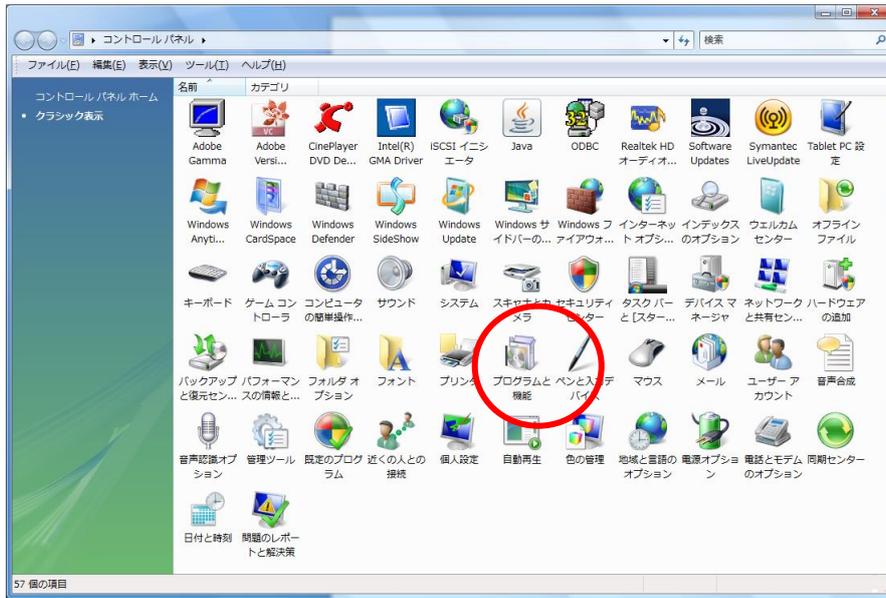
○本ソフトウェアは全ての操作にて「管理者権限」のあるユーザーで行って下さい。

また、インストール時、ソフト起動時は必ず「管理者として実行」で行って下さい。

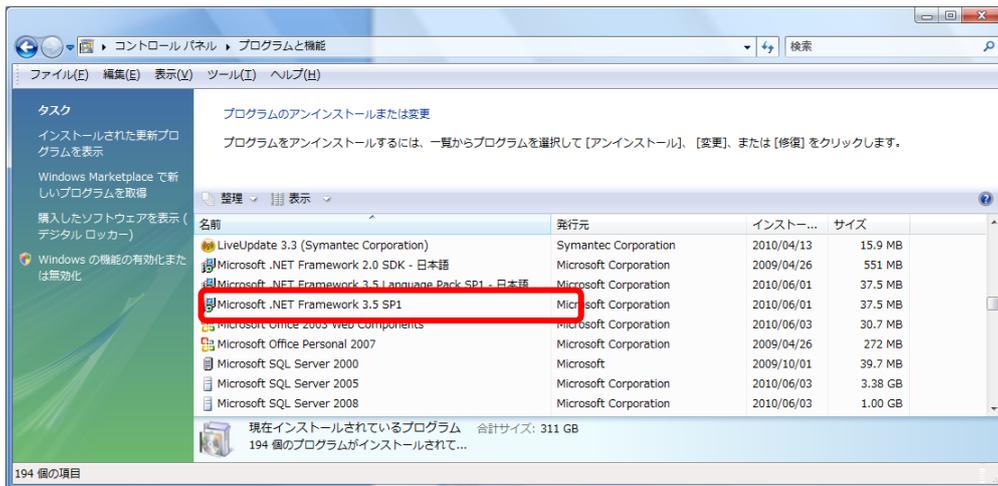
こちらの条件を満たさないで動作に不具合が発生しても弊社は一切の責任を負いかねます。

△▼△ インストール前にご確認ください △▼△

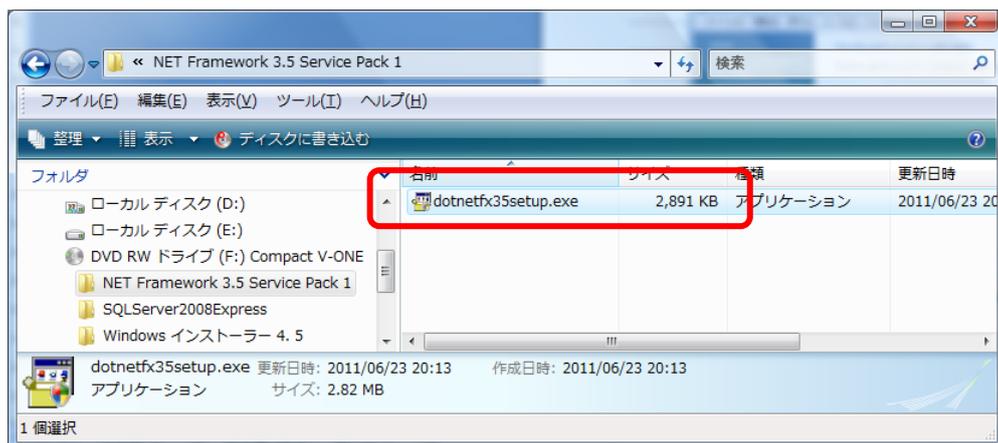
[コントロールパネル] - [プログラムと機能] を開きます。



「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1」以降のバージョンがインストールされていることをご確認ください。



インストールされていない、もしくはバージョンが古い場合は、CD内の「NET Framework 3.5 Service Pack 1」 - 「dotnetfx35setup.exe」をインストールしてください。



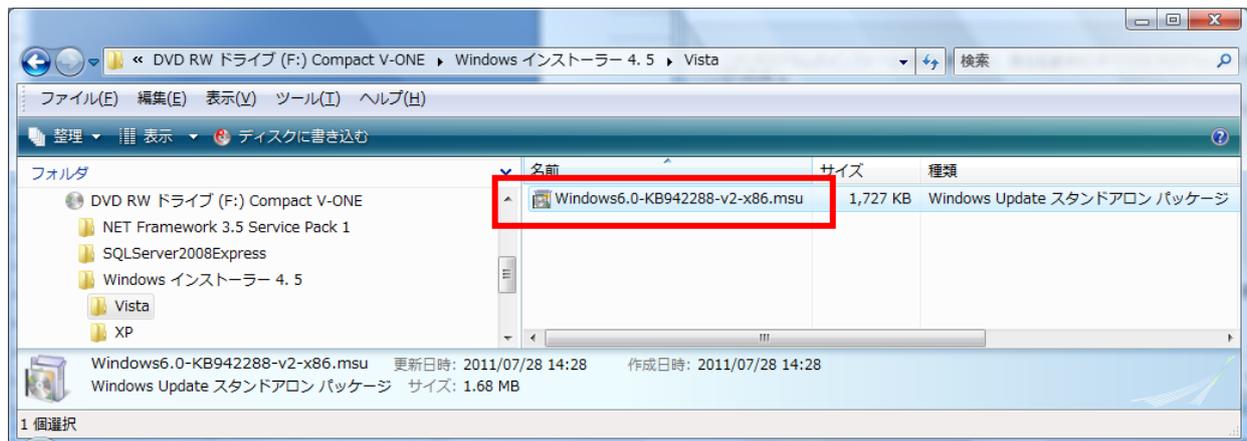
【インストール手順】

～OS が Vista の場合～

1. Windows インストーラ 4.5 をインストール

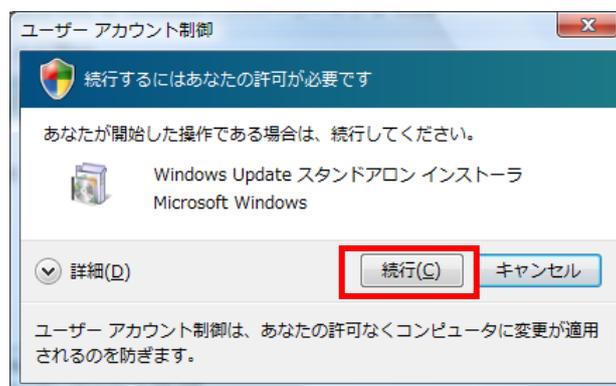
①CD 内「Windows インストーラ」－「Vista」フォルダにあります

【Windows6.0-KB942288-v2-x86.msu】 をダブルクリックし、インストールを開始します。



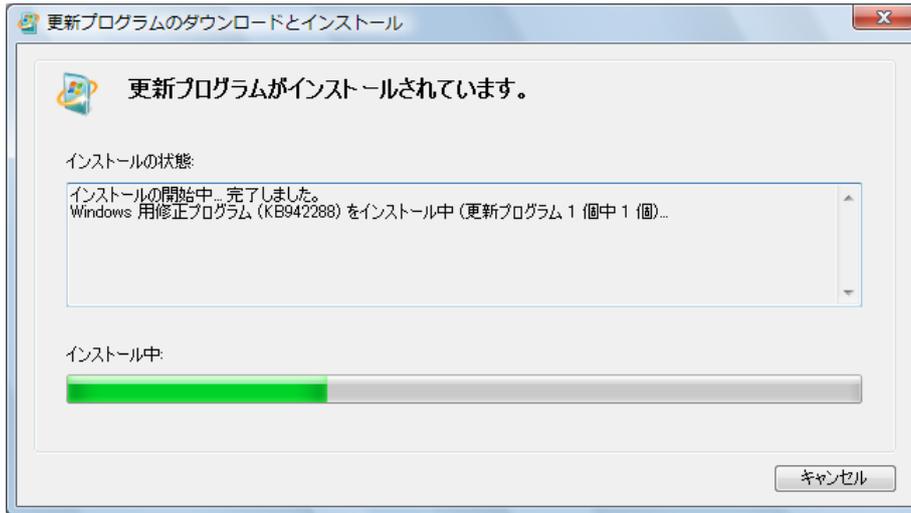
②ユーザアカウント制御の表示

【続行】 をクリックします。



③更新プログラムのインストール

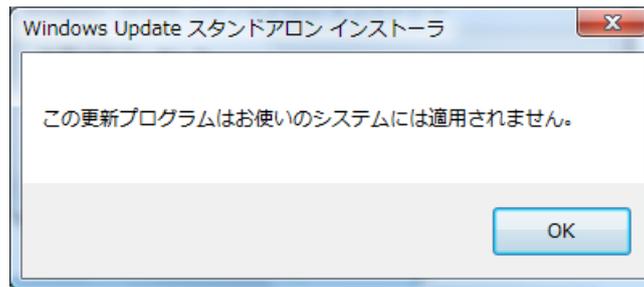
Windows の更新プログラムのインストールが開始されます。



*** 以下のメッセージが表示された場合 ***

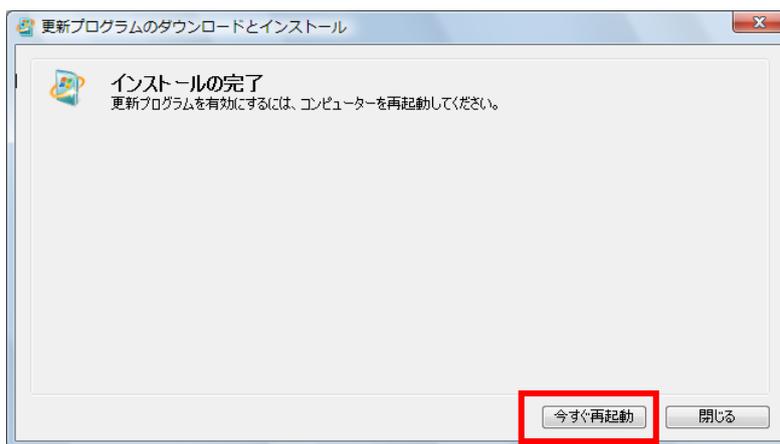
プログラムは、既にインストールされています。

2. 『Sales_V-ONE のインストール』へお進みください。



④インストール完了

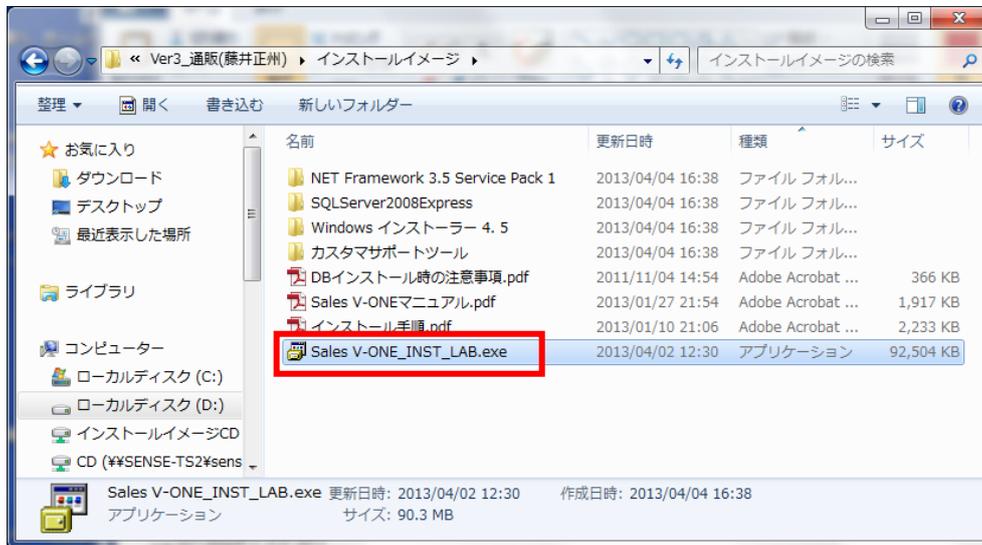
完了メッセージが表示されたら、パソコンを再起動します。



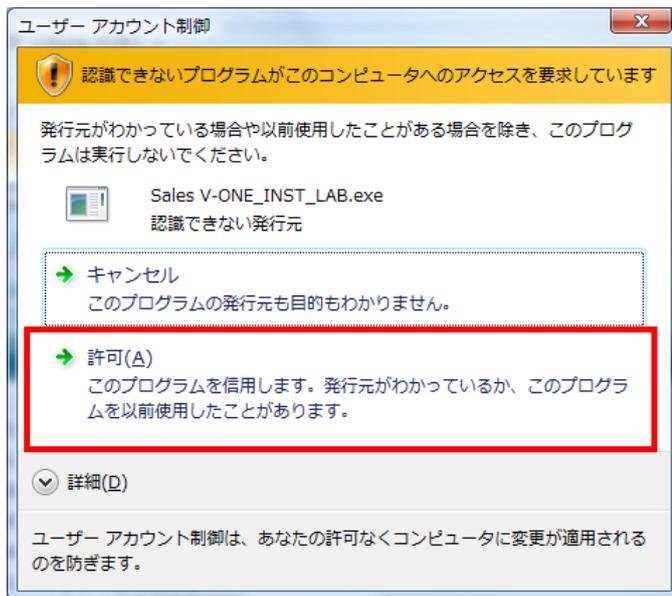
～OS 共通～

2. Sales_V-ONE のインストール

- ① CD 内 [Sales V-ONE_INST_LAB.exe] を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



- ②ユーザーアカウント制御の表示がされたら [許可] または [はい] をクリックします。



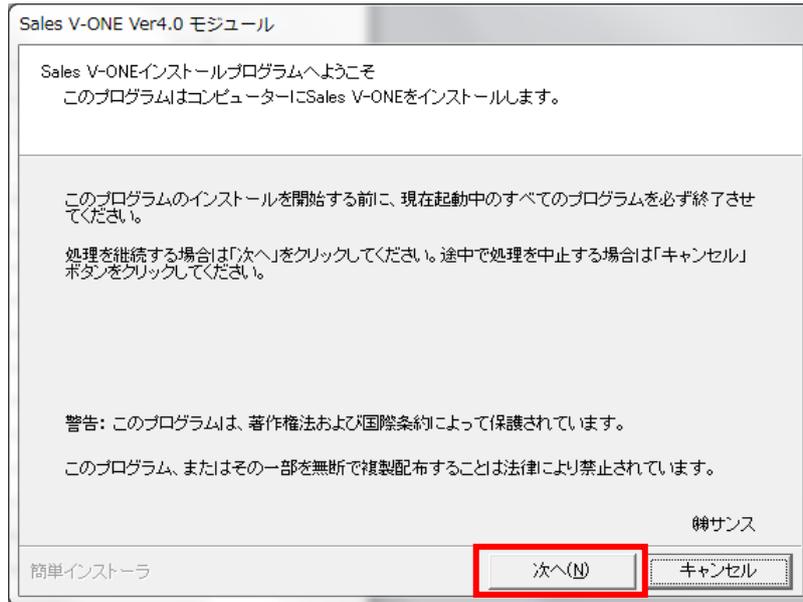
(Vista 画面)



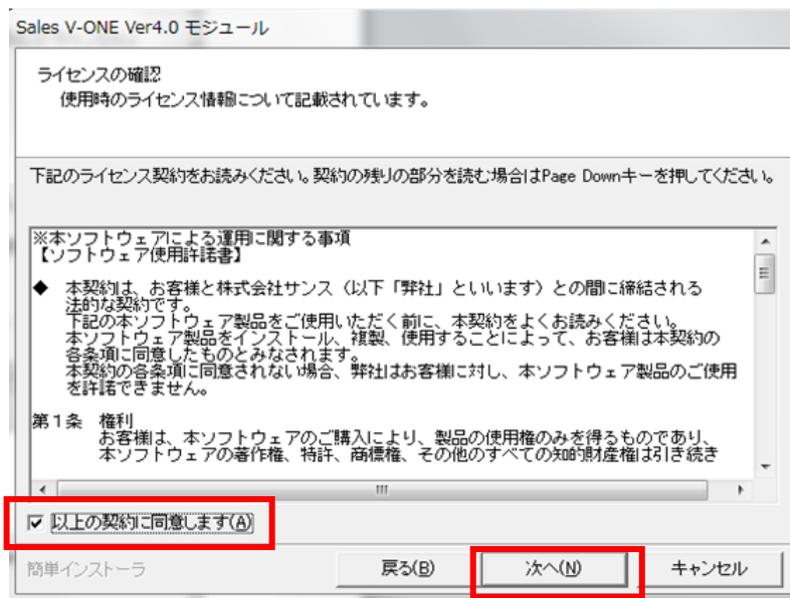
(Windows7 画面)

③Sales V-ONE のインストール

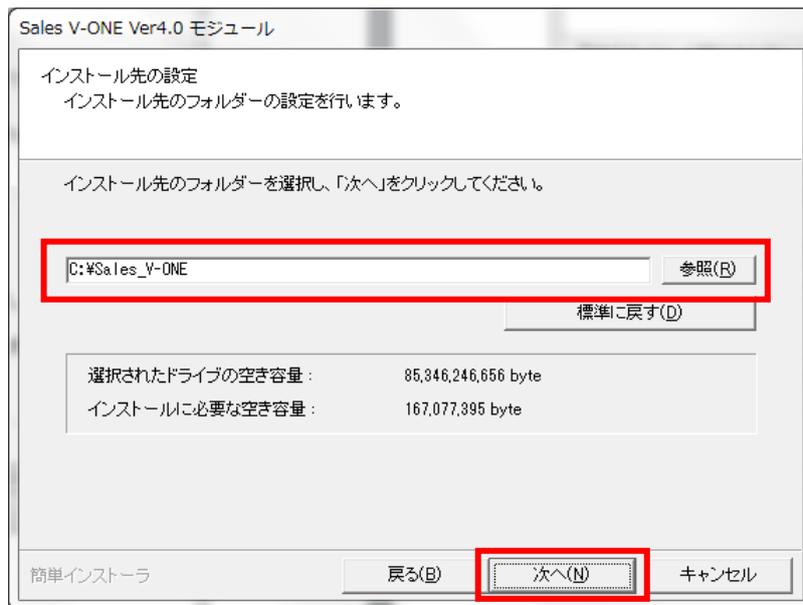
インストーラが起動します。[次へ] をクリックします。



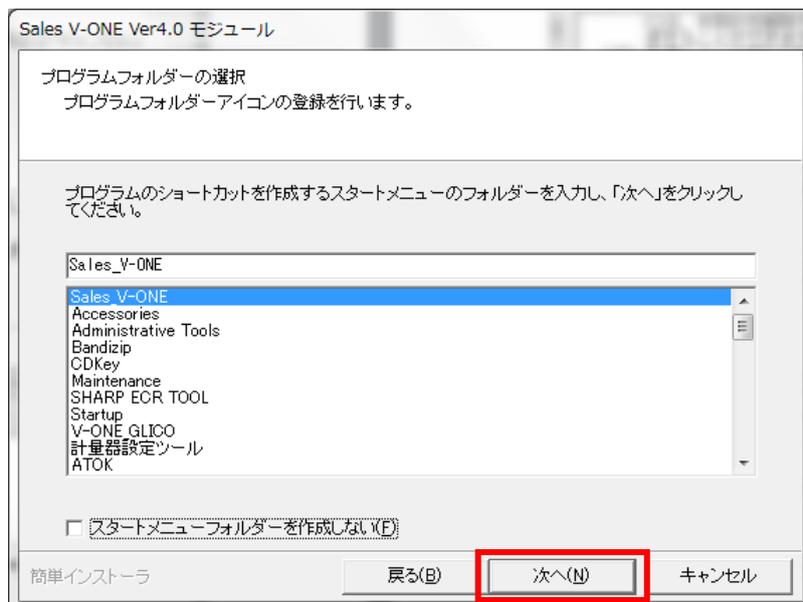
「以上の契約に同意します」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。



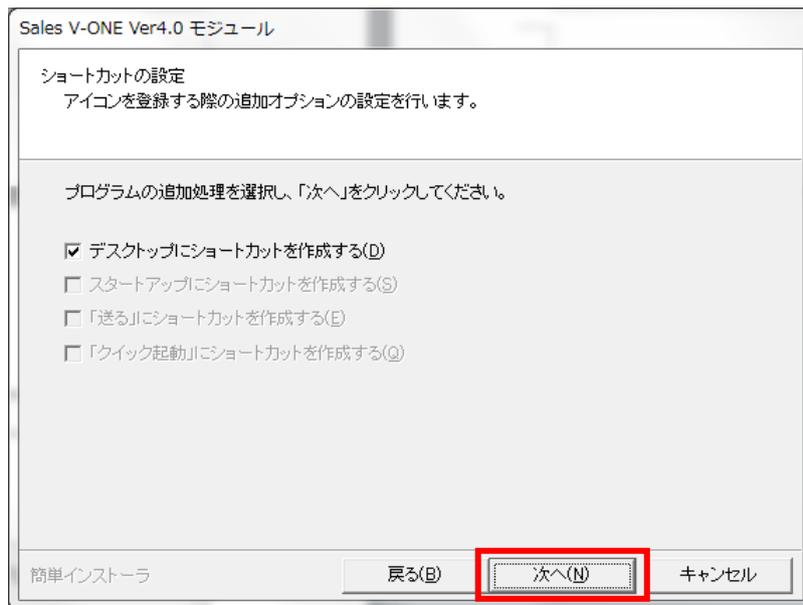
インストール先フォルダを確認し、[次へ] をクリックします。



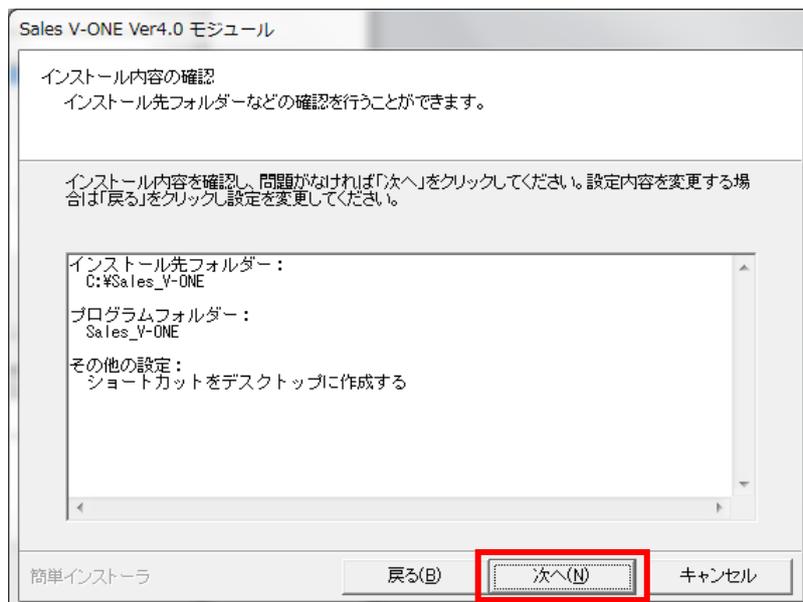
[次へ] をクリックします。



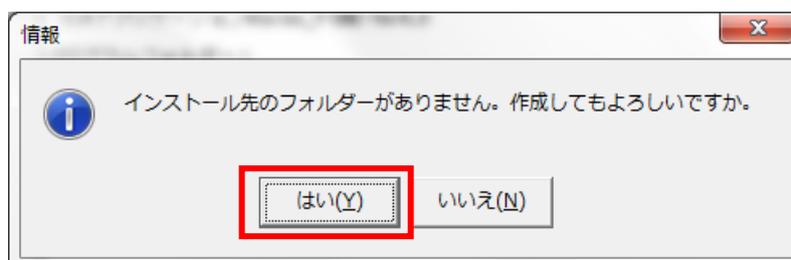
[次へ] をクリックします。



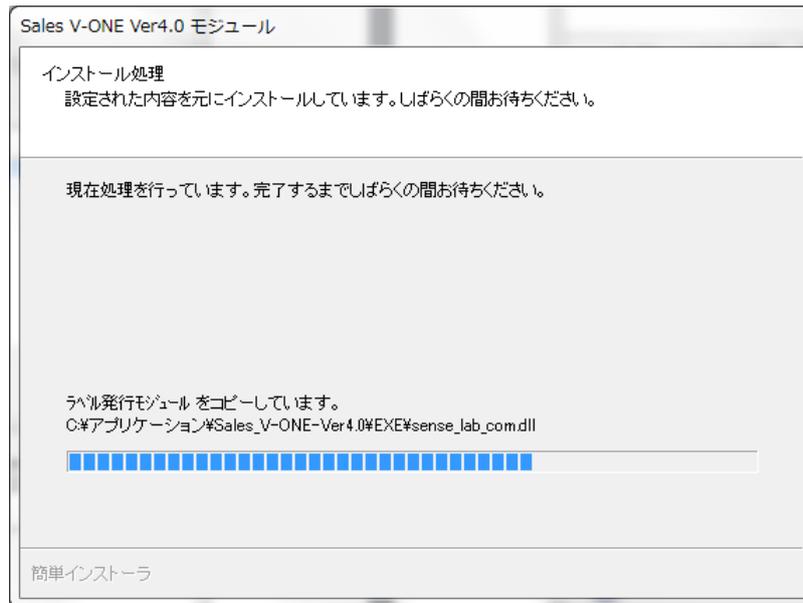
[次へ] をクリックします。



[はい] をクリックします。

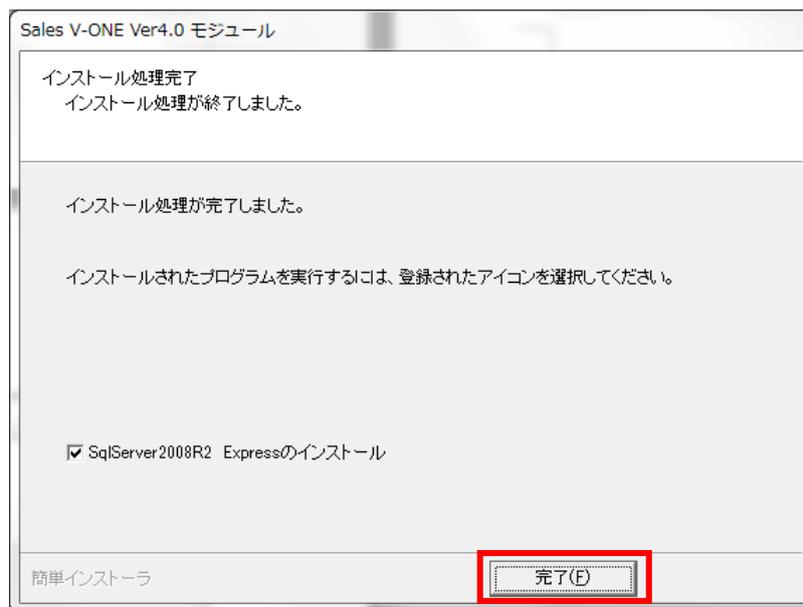


Sales_V-ONE のインストールが開始されます。



完了メッセージが表示されます。

[完了] をクリックします。



*** 以下のメッセージが表示された場合 ***

Windows インストーラ 4.5 をインストールがされていません。[OK] をクリック後、CD 内「Windows インストーラー 4.5」フォルダの中の「Vista」フォルダにあります「Windows6.0-KB942288-v2-x86.msu」を実行します。

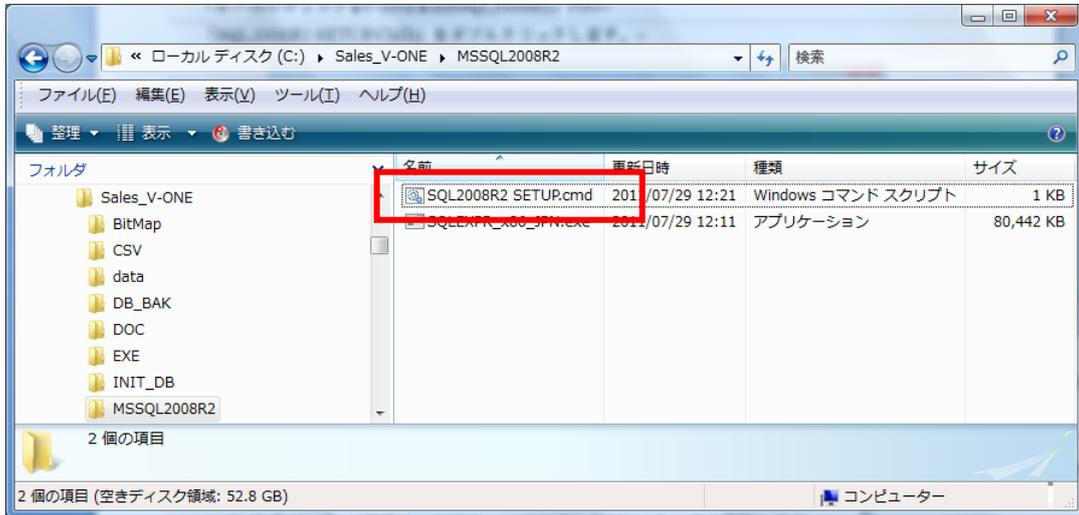


「Windows インストーラ 4.5 をインストール」終了後、SQLServer2008R2 をインストールします。次ページ「SQLServer2008R2 のインストーラが自動で起動しない場合」に沿って、インストールを開始してください。

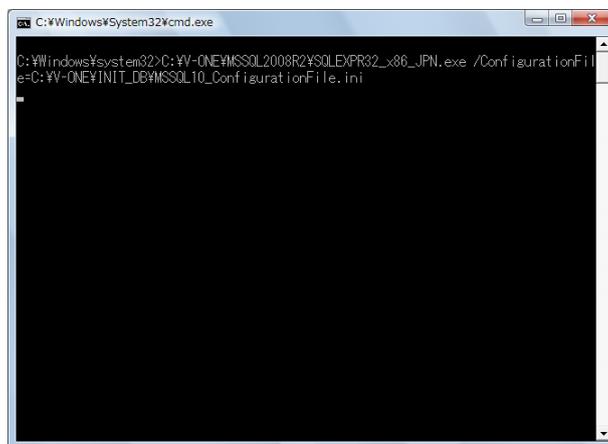
***** SQLServer2008R2 のインストーラが自動で起動しない場合 *****

Sales V-ONE インストール完了時、「sqlServer2008R2 Express のインストール」にチェックをつけたまま [完了] ボタンを押すと、自動で SQLServer2008R2 のインストーラが起動します。
(次ページ「3. SQL Server 2008 R2 のインストール」画面参照)

インストーラが自動で起動しない場合は、「ローカルディスク¥ Sales_V-ONE¥MSSQL2008R2」内の「SQL2008R2 SETUP.CMD」を右クリックし、「管理者として実行」でインストーラを起動してください。



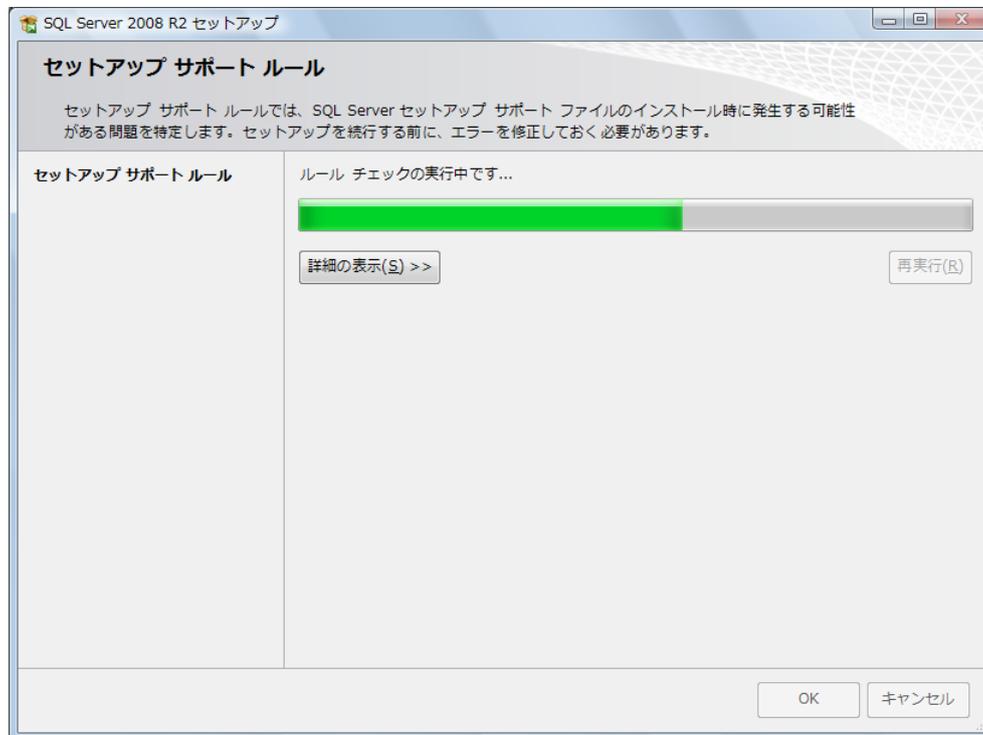
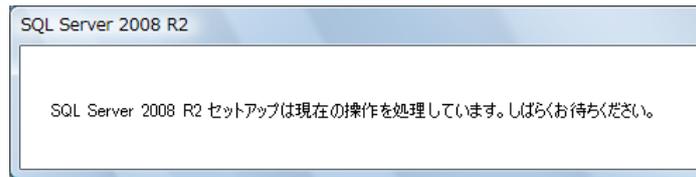
コマンドプロンプトが起動し、SQLServer2008R2 のインストーラが起動します。



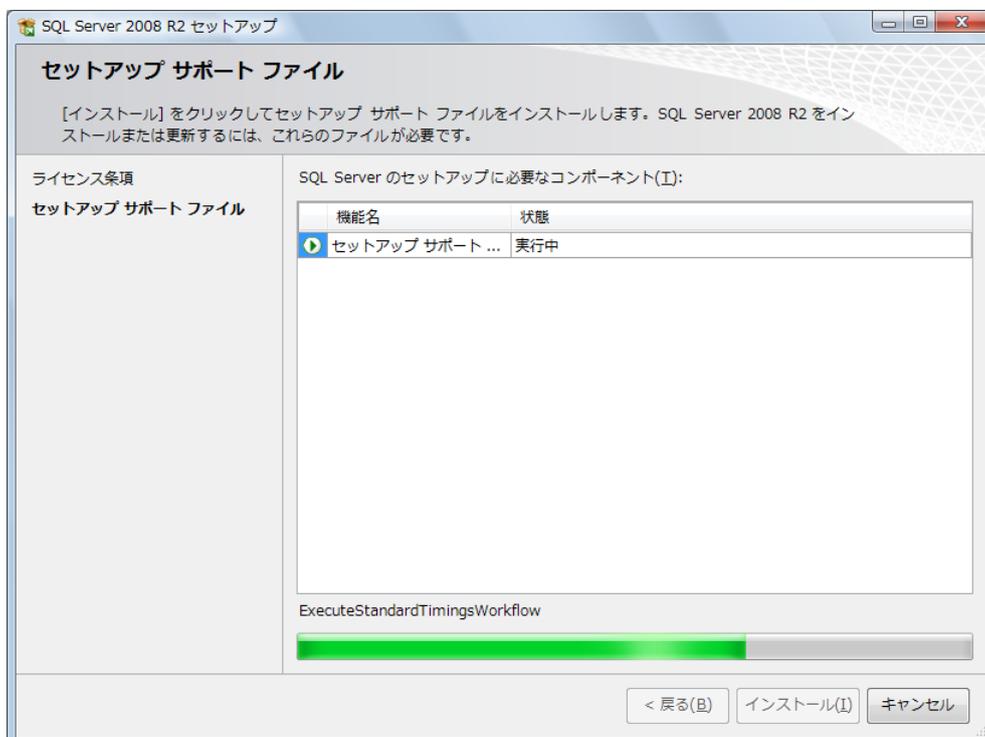
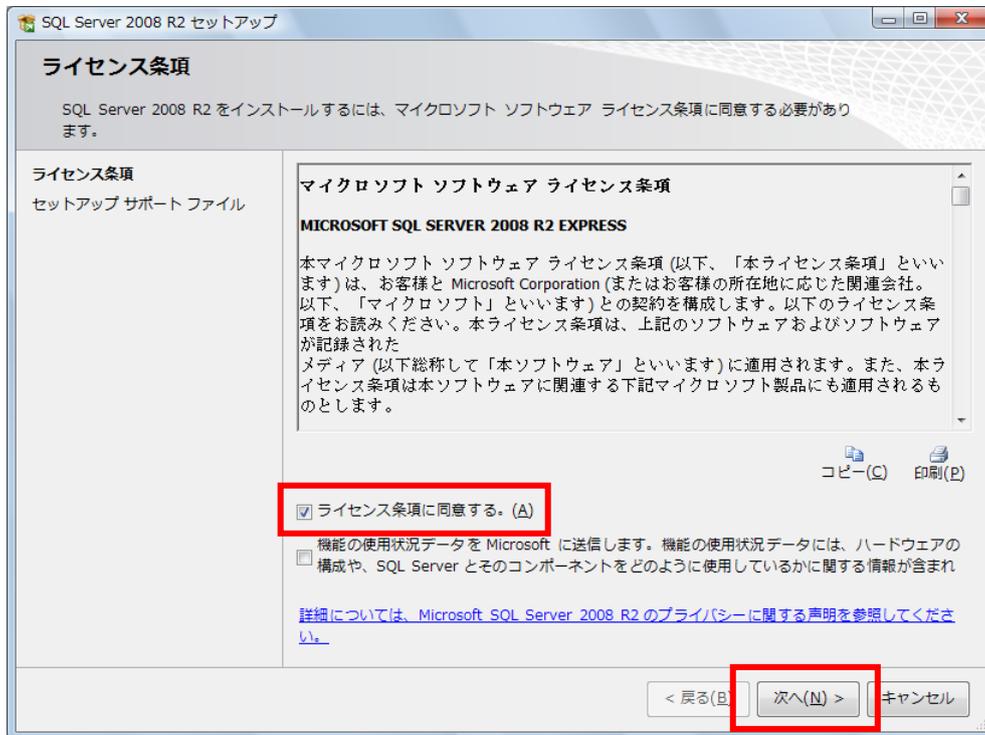
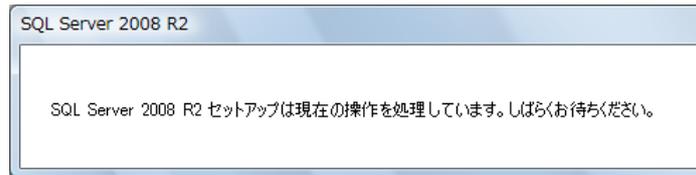
インストール手順につきましては、次ページ以降「3. SQL Server 2008 R2 のインストール」を参照してください。

3. SQL Server 2008 R2 のインストール

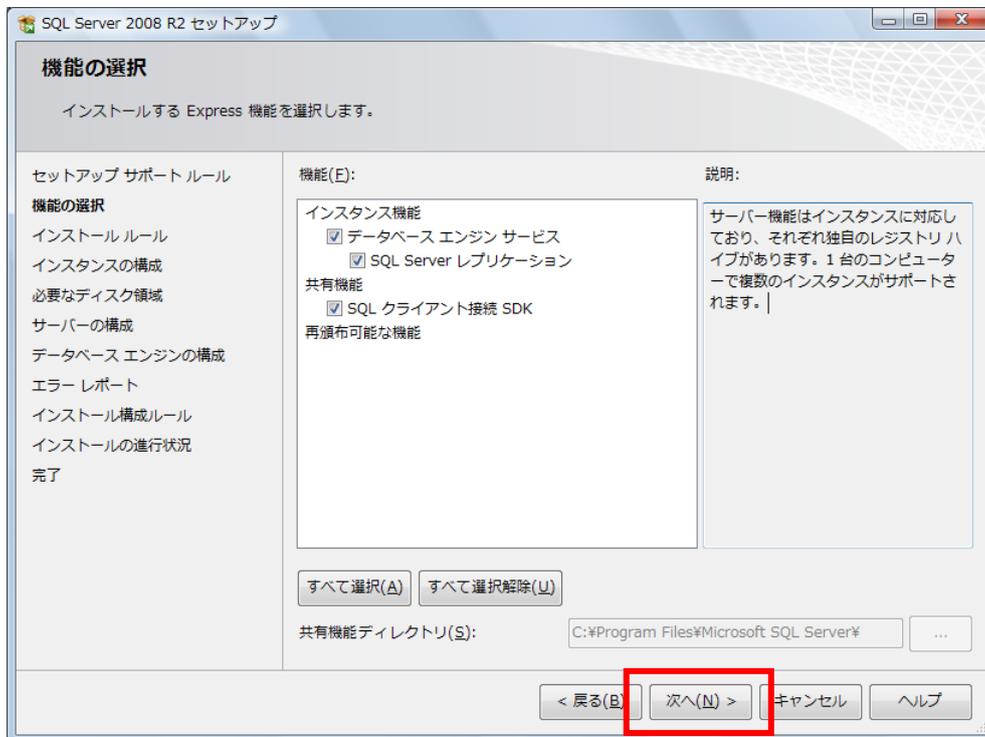
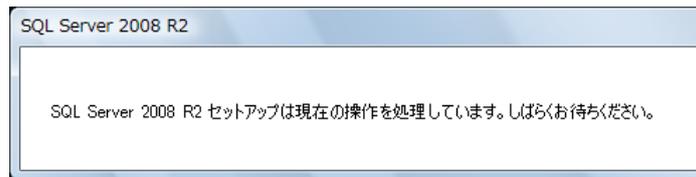
Sales_V-ONE インストール後、自動で開始します。



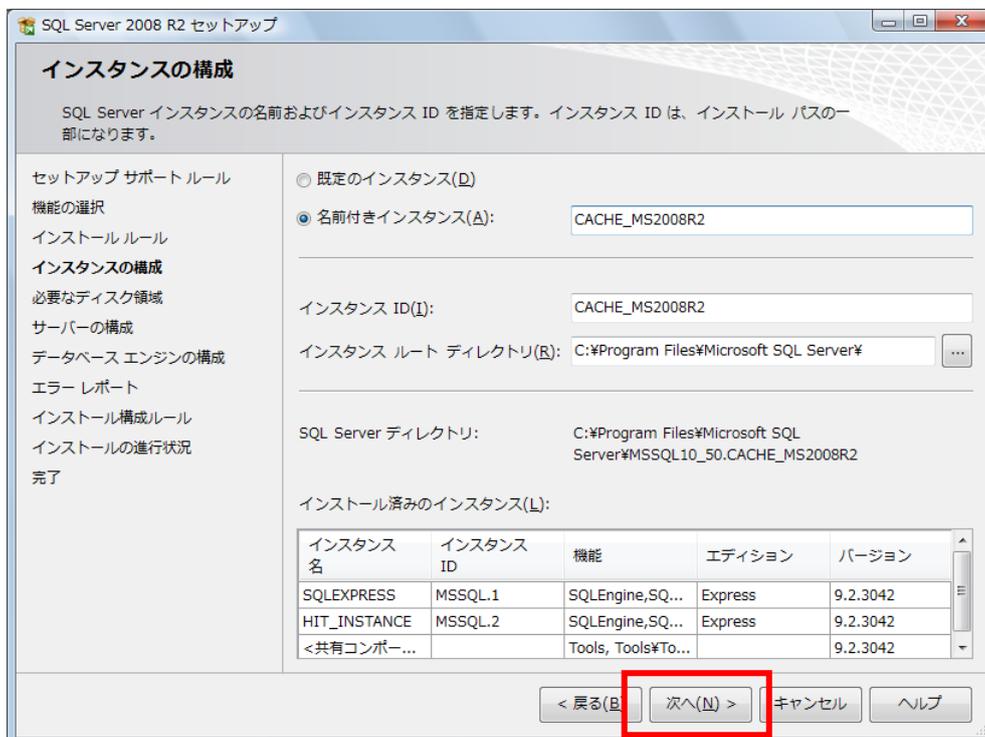
「ライセンス条件に同意する」にチェックを付け、[次へ] をクリックします。



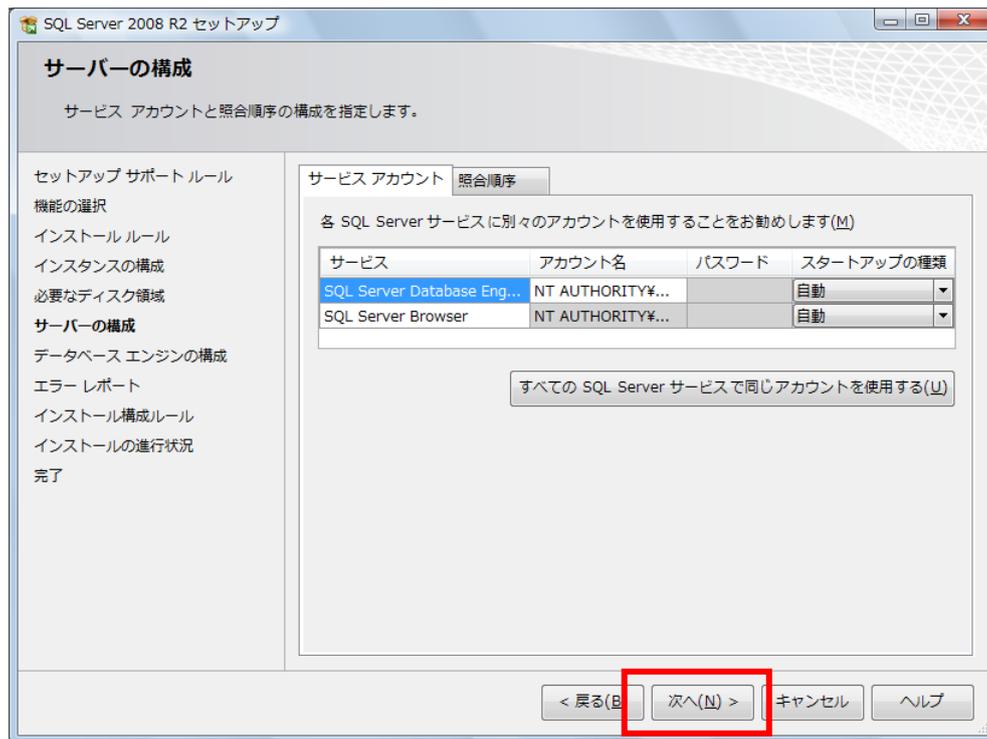
全てにチェックが付いた状態（表示されたまま）で [次へ] をクリックします。



表示された内容のまま [次へ] をクリックします。



表示された内容のまま [次へ] をクリックします。



【重要】

画面右下に表示されている『SQL Server 管理者の設定』の内容を確認して下さい。

表示されているユーザー名の値に“¥”があります。“¥”より左側の内容がコンピューター名となります。“¥”より右側の内容が、ユーザー名となります。

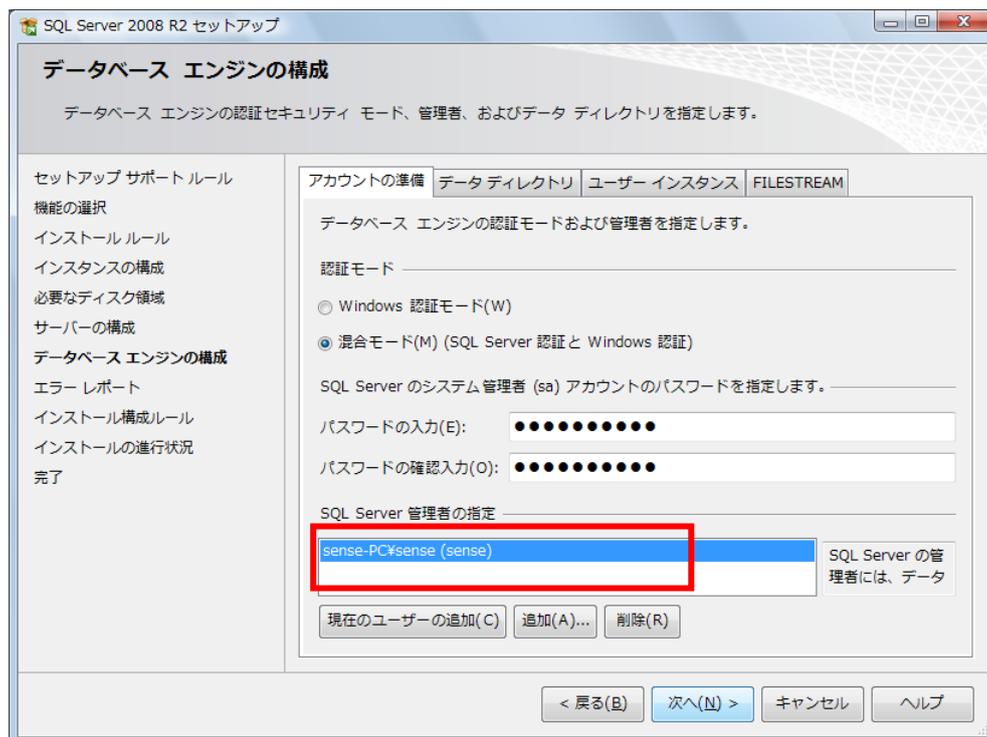
(画面の例では sense-PC¥sense となっておりますので、『sense-PC』がコンピューター名、『sense』がユーザー名となります。)

もし、コンピューター名とユーザー名が同じ値が表示されている場合は別紙

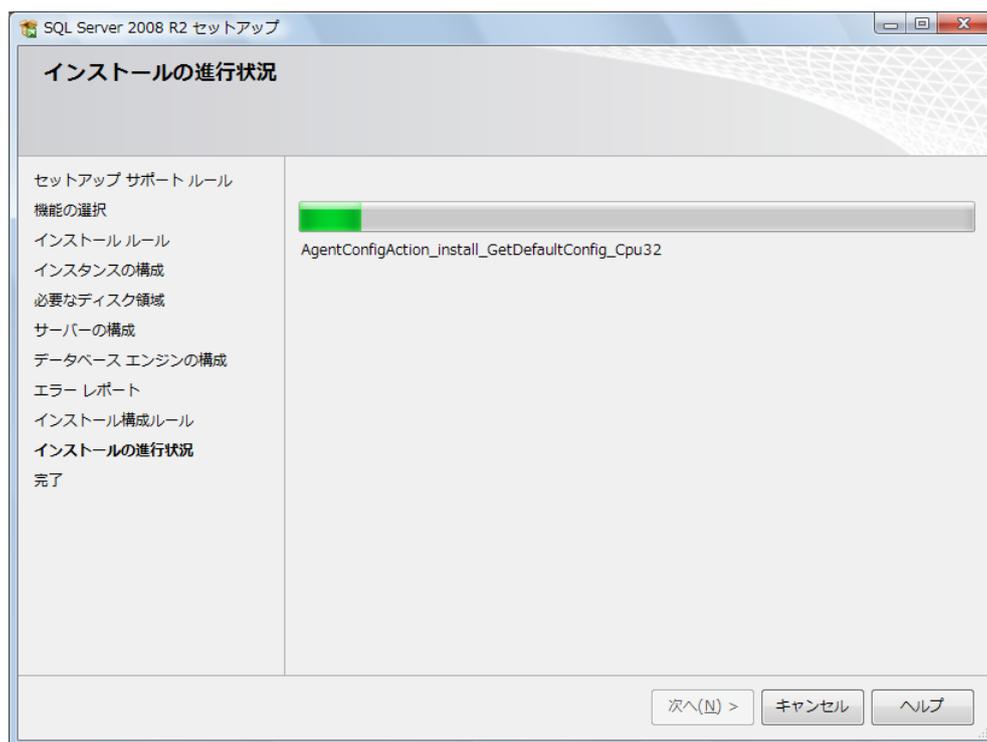
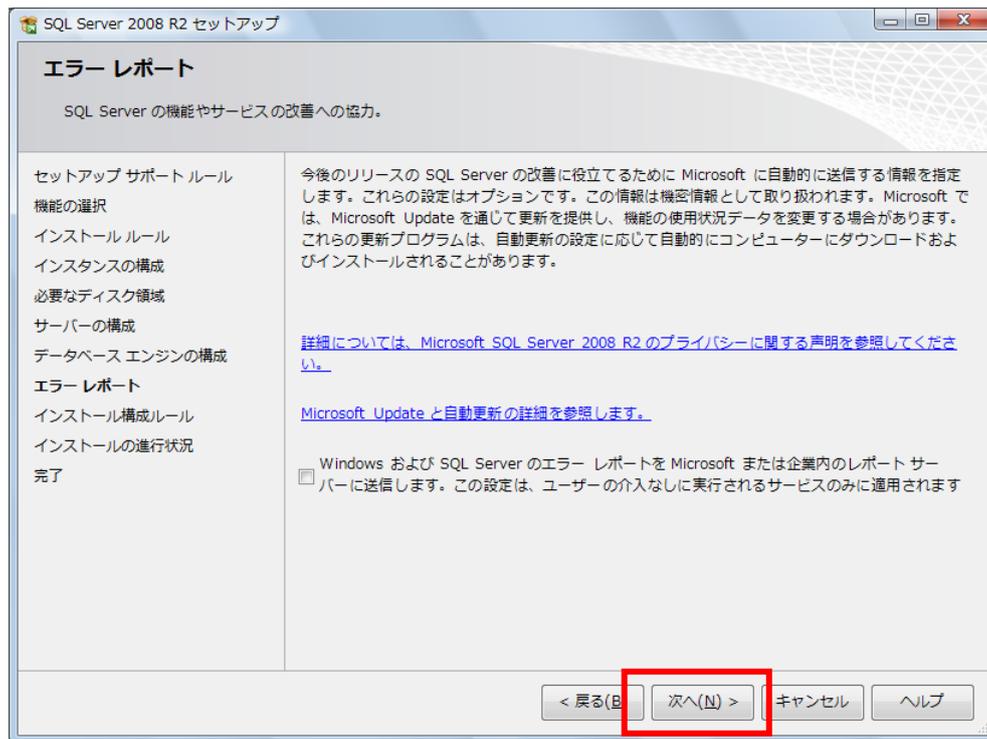
『DB インストール時の注意事項』(DB インストール時の注意事項.pdf)を参照し、別のユーザーを指定してください。

(コンピューター名とユーザー名が異なる値の場合は変更する必要はありません)

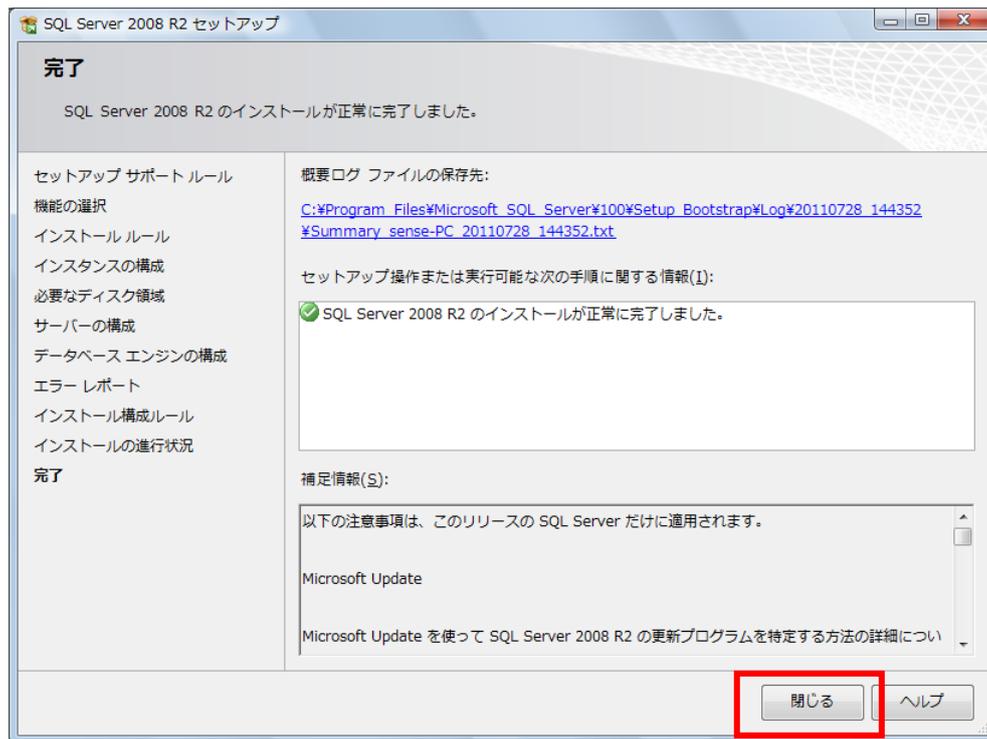
上記の処理が終わったら、[次へ] をクリックします。



[次へ] をクリックします。



完了メッセージが表示されたら [閉じる] をクリックします。



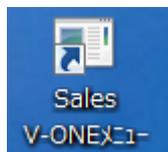
パソコンの再起動をします。

<<<Sales_V-ONE の初回起動>>>

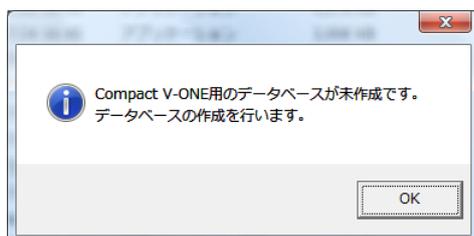
※初回起動の前にパソコンの再起動が必要です※

(本ソフトウェア・SQL Server インストール後に再起動している場合は必要ありません。)

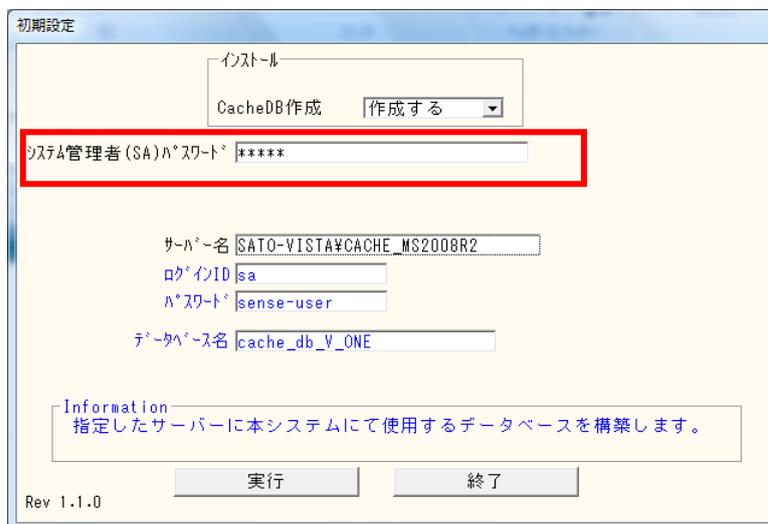
1. 上記のインストールが完了しましたら、画面のアイコンをクリックします。



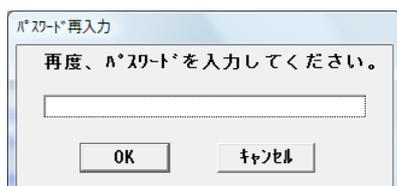
2. Sales_V-ONE のデータベースが作成されていません。下記のメッセージが表示されますので、OK ボタンを押下します。



3. データベース作成プログラムが起動しますので、手順に従いデータベースを構築します。
(ア) システム管理者 (SA) パスワードに半角にて **sense-user** と入力し Enter キーを押下します。



- (イ) 下記の画面が表示されますので、再度、**sense-user** と入力し OK ボタンを押下します。



(ウ) 実行ボタンを押下し

初期設定

インストール

CacheDB作成

システム管理者 (SA)パスワード *****

サーバー名 SATO-VISTA#CACHE_MS2008R2

ログインID sa

パスワード sense-user

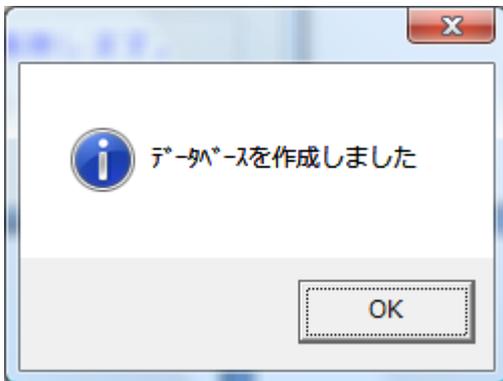
データベース名 cache_db_V_ONE

Information
指定したサーバーに本システムにて使用するデータベースを構築します。

実行

Rev 1.1.0

(エ) 下記のメッセージが表示されますので OK ボタンを押下します。



(オ) 終了ボタンを押下します。

初期設定

インストール

CacheDB作成

システム管理者 (SA)パスワード *****

サーバー名 SATO-VISTA#CACHE_MS2008R2

ログインID sa

パスワード sense-user

データベース名 cache_db_V_ONE

Information
指定したサーバーに本システムにて使用するデータベースを構築します。

実行

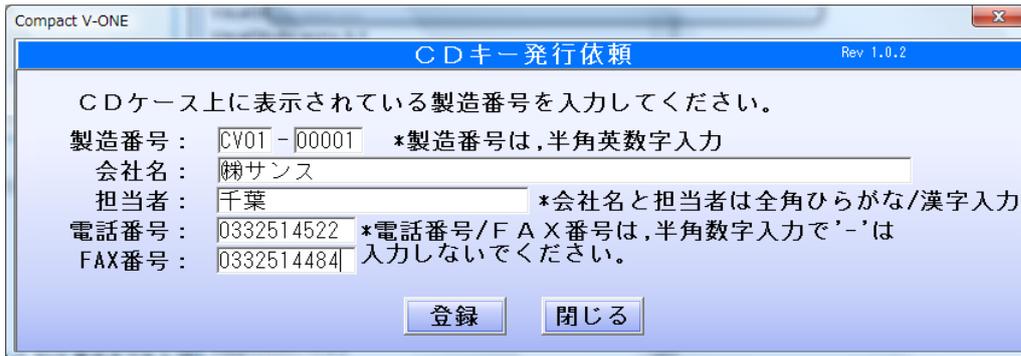
Rev 1.1.0

4. ライセンス登録

下記の画面が表示されましたら、OK を押下し、ライセンス登録を行ってください。



(ア) CD キー発行依頼画面に製造番号から FAX 番号までを入力し登録ボタンを押下してください。



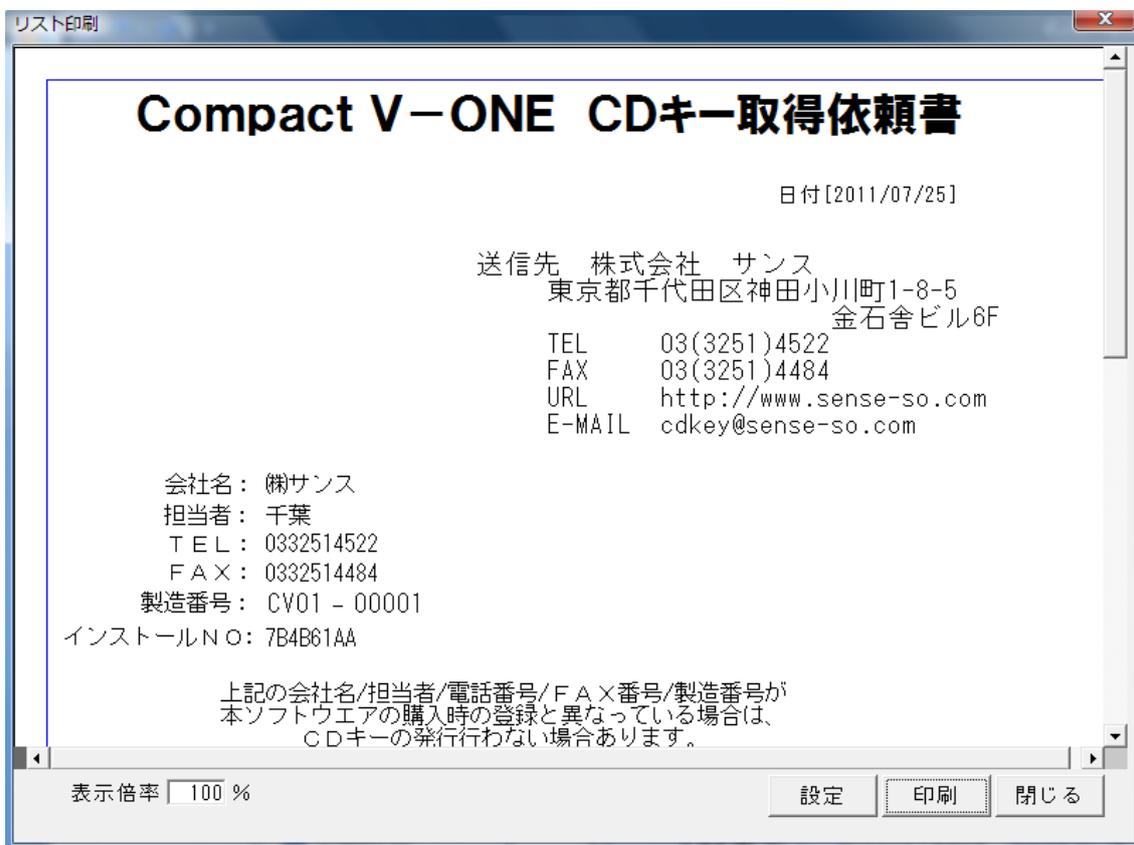
Compact V-ONE
CDキー発行依頼 Rev 1.0.2

CDケース上に表示されている製造番号を入力してください。

製造番号: CV01-00001 *製造番号は、半角英数字入力
会社名: 株式会社
担当者: 千葉 *会社名と担当者は全角ひらがな/漢字入力
電話番号: 0332514522 *電話番号/FAX番号は、半角数字入力で'-'は
FAX番号: 0332514484 入力しないでください。

登録 閉じる

(イ) 下記 CD キー取得依頼書画面が表示されますので、印刷ボタンを押下し、印刷を行ってください。印刷した CD キー取得依頼書を弊社（株式会社）宛に FAX 下さい。



リスト印刷

Compact V-ONE CDキー取得依頼書

日付 [2011/07/25]

送信先 株式会社 サンス
東京都千代田区神田小川町1-8-5
金石舎ビル6F

TEL 03(3251)4522
FAX 03(3251)4484
URL <http://www.sense-so.com>
E-MAIL cdkey@sense-so.com

会社名: 株式会社
担当者: 千葉
TEL: 0332514522
FAX: 0332514484
製造番号: CV01 - 00001
インストールNO: 7B4B61AA

上記の会社名/担当者/電話番号/FAX番号/製造番号が
本ソフトウェアの購入時の登録と異なっている場合は、
CDキーの発行行わない場合があります。

表示倍率 100 %

設定 印刷 閉じる

(ウ) 弊社より CD キーが書かれた書類を FAX 致しますので、この CD キーを下記の画面に入力し、登録ボタンを押下してください。

The image shows a Windows-style dialog box titled "Compact V-ONE" with a subtitle "CD キー登録 Rev 1.0.2". The dialog contains the following text and controls:

- Text: "CDキーを入力してください。"
- Text: "製造番号NO: CV01-00001"
- Text: "インストールNO: 7B4B61AA"
- Text: "CDキー: []-[]-[]-[]-[]" (where [] represents an empty input field)
- Text: "CDキーを入力しないと本ソフトウェアは、起動しません。"
- Text: "CDキーは、製造先より取得したCDキーを入力してください。"
- Buttons: "登録" (Register) and "閉じる" (Close)

変更履歴

	発行月	内容
第 1 版	2013.1 月	新規作成
第 2 版	2013.4 月	一部画面修正
第 3 版	2014.5 月	Ver4.0 対応 画面変更
第 4 版	2016.2 月	SQLServer2008R2 インストーラの手動起動手順を修正